



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 東 大

上場会社名 ダイソー株式会社

コード番号 4046 URL <http://www.daiso.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 存

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 上出 修

TEL 06-6110-1560

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	23,100	18.1	1,259	11.8	1,346	9.5	785	7.6
23年3月期第1四半期	19,560	14.1	1,126	212.4	1,230	170.1	729	248.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 753百万円 (317.0%) 23年3月期第1四半期 180百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	7.45	7.24
23年3月期第1四半期	6.73	5.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	65,521	33,933	51.7
23年3月期	65,214	33,601	51.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 33,862百万円 23年3月期 33,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,500	6.3	2,300	7.4	2,400	6.5	1,350	5.6	12.81
通期	85,000	5.3	5,100	14.1	5,300	14.7	2,700	11.3	25.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	111,771,671 株	23年3月期	111,771,671 株
24年3月期1Q	6,366,694 株	23年3月期	6,366,485 株
24年3月期1Q	105,404,933 株	23年3月期1Q	108,413,516 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とする新興国の成長や欧米の緩やかな景気回復を背景に持ち直しの兆しが見られたものの、東日本大震災とその後の電力供給の制約による生産活動の低下や個人消費の低迷に加え、原燃料価格の高騰や為替が円高傾向で推移するなど、依然として厳しい環境が続きました。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画『DYNAMIC ACTION-13』の初年度を迎え、その基本方針であるコア事業の強化および次世代事業の育成による事業基盤の拡充、新規事業の創出、グローバル戦略およびコーポレート戦略の推進により、新たな成長基盤の構築に取り組んでまいりました。一方、震災による直接の被害はありませんでしたので、復興支援への対応として、定期修理の期間短縮や生産効率の向上などにより、生活基盤の確保に不可欠なセイソーダや復興需要に必要な素材であるエピクロルヒドリンの緊急増産を行なうとともに、節電関連商品の販売などにも積極的に取り組んでまいりました。

基礎化学品では、クロール・アルカリは震災対応による緊急増産を行なったことにより販売数量が増加いたしました。また、エピクロルヒドリンはエポキシ樹脂業界等への販売数量の増加と、原燃料価格の高騰に対応した価格改定により、売上高は増加いたしました。

機能化学品では、ア릴エーテル類はシランカップリング剤用途を中心に販売数量が増加いたしました。また、医薬品原薬・中間体は抗血栓薬中間体や抗菌剤中間体が寄与し、売上高は増加いたしました。一方、エピクロルヒドリンゴムおよび省エネタイヤ用改質剤は震災により自動車生産台数が大幅に落ち込んだため、売上高は減少いたしました。さらに、電極は震災の影響により薄型鋼板メッキの需要が低調に推移し、カラーレジストは液晶ディスプレイ向け需要低迷の影響により、売上高は減少いたしました。

住宅設備ほかでは、化粧板などのダップ加工材は横這いでしたが、住宅関連製品は節電関連商品の販売が好調に推移したため、売上高は大幅に増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期における連結売上高は、231億円と対前年同期比18.1%増加いたしました。利益面においては、販売数量の大幅な増加により、連結営業利益は、12億5千9百万円と対前年同期比11.8%の増加、連結経常利益は、13億4千6百万円と対前年同期比9.5%の増加、連結四半期純利益は、7億8千5百万円と対前年同期比7.6%の増加となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、0.8%増加し379億2千8百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が26億7千5百万円増加、有価証券(国庫短期証券)が19億9千9百万円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、0.5%増加し655億2千1百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、0.5%増加し265億7百万円となりました。これは、主として、支払手形及び買掛金が9億3百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が1億2千5百万円減少、未払法人税等が5億1千4百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、3.1%減少し50億8千万円となりました。これは、主として長期借入金が1億4千5百万円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、0.1%減少し315億8千7百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、1.0%増加し339億3千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,465	2,572
受取手形及び売掛金	23,997	26,673
有価証券	2,299	299
商品及び製品	3,653	4,213
仕掛品	953	1,033
原材料及び貯蔵品	1,627	1,693
繰延税金資産	1,162	1,005
その他	458	442
貸倒引当金	3	4
流動資産合計	37,613	37,928
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,044	5,824
その他(純額)	9,243	9,480
有形固定資産合計	15,287	15,305
無形固定資産		
のれん	283	276
その他	323	263
無形固定資産合計	606	540
投資その他の資産		
投資有価証券	10,126	10,077
その他	1,591	1,681
貸倒引当金	11	11
投資その他の資産合計	11,706	11,747
固定資産合計	27,600	27,593
資産合計	65,214	65,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,178	15,082
短期借入金	6,630	6,630
1年内返済予定の長期借入金	1,695	1,570
未払法人税等	901	387
その他	2,965	2,837
流動負債合計	26,371	26,507
固定負債		
新株予約権付社債	1,463	1,463
長期借入金	955	810
退職給付引当金	2,307	2,288
役員退職慰労引当金	511	502
繰延税金負債	-	12
その他	4	4
固定負債合計	5,241	5,080
負債合計	31,612	31,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,882	10,882
資本剰余金	9,394	9,394
利益剰余金	13,773	14,137
自己株式	1,647	1,647
株主資本合計	32,402	32,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,131	1,102
繰延ヘッジ損益	2	6
その他の包括利益累計額合計	1,128	1,096
新株予約権	70	70
純資産合計	33,601	33,933
負債純資産合計	65,214	65,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	19,560	23,100
売上原価	16,065	19,314
売上総利益	3,494	3,785
販売費及び一般管理費	2,367	2,526
営業利益	1,126	1,259
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	121	130
その他	75	19
営業外収益合計	202	153
営業外費用		
支払利息	16	20
為替差損	79	35
その他	3	9
営業外費用合計	98	65
経常利益	1,230	1,346
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7	-
新株予約権戻入益	1	-
特別利益合計	8	-
特別損失		
固定資産除却損	43	52
その他	4	-
特別損失合計	47	52
税金等調整前四半期純利益	1,191	1,293
法人税、住民税及び事業税	162	342
法人税等調整額	298	166
法人税等合計	461	508
四半期純利益	729	785

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
四半期純利益	729	785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	554	28
繰延ヘッジ損益	5	3
その他の包括利益合計	549	32
四半期包括利益	180	753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180	753
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントの概要

当社は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「基礎化学品」、「機能化学品」、「住宅設備ほか」の3つを報告セグメントとしています。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	9,365	7,376	2,818	19,560	-	19,560
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	99	100	100	-
計	9,365	7,377	2,917	19,660	100	19,560
セグメント利益	654	709	18	1,382	256	1,126

(注) 1 セグメント利益の調整額 256百万円には、セグメント間取引消去 6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 249百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

・各セグメントに属する主要製品・サービス

セグメント	主要製品・サービス
基礎化学品	かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、ジクロロプロペン、塗料原料、接着剤原料等
機能化学品	アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、ダップ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、液体クロマトグラフィー用シリカゲル、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、医薬品原薬・中間体、光学活性体、資源リサイクル等
住宅設備ほか	ダップ加工材、住宅関連製品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント・環境保全設備建設等

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	10,662	7,284	5,153	23,100	-	23,100
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	0	144	150	150	-
計	10,666	7,285	5,298	23,250	150	23,100
セグメント利益	841	707	22	1,571	312	1,259

(注) 1 セグメント利益の調整額 312百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

・各セグメントに属する主要製品・サービス

セグメント	主要製品・サービス
基礎化学品	かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、ジクロロプロペン、塗料原料、接着剤原料等
機能化学品	アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、ダップ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、液体クロマトグラフィー用シリカゲル、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、医薬品原薬・中間体、光学活性体、資源リサイクル等
住宅設備ほか	ダップ加工材、住宅関連製品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント・環境保全設備建設等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。